

R6 年度 グループホームしおさい荘 地域連携推進会議議事録

日 時：令和 6 年 11 月 13 日（水） 10:25～11:35

会 場：グループホームしおさい荘 やわらぎ荘 娯楽室

出席者：松海が丘第二自治会 会長

松海が丘第二自治会 1 班 班長

新潟市民生委員児童委員 真砂地区・松海が丘第二自治会担当

社会福祉法人 更生慈仁会 テイクオフ 管理者兼サービス管理責任者

医療法人 青山信愛会 グループホームしおさい荘 利用者様

医療法人 青山信愛会 障害福祉事業 SV

医療法人 青山信愛会 グループホームしおさい荘 管理者

医療法人 青山信愛会 グループホームしおさい荘 サービス管理責任者（記録）

1. 開会

しおさい荘管理者より、会議の目的等を説明した。

2. 自己紹介

3. グループホームしおさい荘の施設概要について

○資料に沿って施設概要を説明。

H24 年より、共同生活援助として運営。定員 28 名、現在 23 名が利用。

精神障害があり、一定程度の自活能力を有し、共同生活を営める方を対象。

原則、日中活動への参加が必要。

主として、食事、服薬、生活費管理の支援を行っている。

○しおさい荘利用者様より、生活の様子について話を頂いた。

4. 質疑応答

・利用希望者はどこから紹介されているか。

⇒ 各医療機関や相談支援事業所より紹介・問い合わせを頂くことが多い。

また新潟市のホームページに空き状況を掲載しており、それを見た利用者様、ご家族様より直接問い合わせを頂くこともある。

状態により、受け入れが難しい場合もあり、利用にあたっては医師の意見書や参考資料などをもとに、ご本人との面談や体験利用等で状況を確認させて頂いている。

・食事の状況はどのようになっているか。

⇒ しおさい荘は食堂にて、やわらぎ荘とサトミハイツは居室内で食事となる。

食事の提供はなく、各自で用意して頂く。希望があれば宅配弁当を利用したり、

スタッフが一緒に調理する等の対応は可能。

- ・グループホームから一人暮らしへ移行するケースがあるか。施設から地域に出て自立できると良い。

⇒ 多くはないが、アパート等へ出て一人暮らしをするケースはある。また最近は、目的に合ったグループホームへ移るケースも多い。

- ・外出の制限などはあるか。

⇒ 門限（21:00）はあるが、外出の制限はない。

しおさい荘利用者様は、外出時に声掛けをして頂いている（所在確認の名札もあり）。

- ・（しおさい荘利用者様へ）しおさい荘で生活していて、何か要望はあるか。

⇒ 特になし。生活や仕事、自分の時間を有効活用できている。

- ・日中活動について、高齢の利用者様も通所されているか。

⇒ 体調に応じて欠席すること等はあるが、日中活動には所属し、通所されている。

5. 意見交換

- ・利用者様より。

1/1の地震の際、寺尾中央公園へ避難したが、長時間の避難となりとても寒かった。今後、そのような場合に、公園内にある会館を使わせてもらえないか。

⇒自治会長より。

松海が丘第二自治会は、佐渡見公園を第一避難場所としており、備蓄品もあるため、必要時は佐渡見公園へ来てもらいたい。また寺尾中央公園の会館使用については、広域の会議など機会があれば話を出してみる。

- ・自治会長より。

現在、地域の病医院にAEDが設置してあり、必要時は借りることが可能だが、いずれも夜間は閉まっているため借りられない状況あり。テイクオフにもAEDが設置してあるとのことから、必要時の貸し出しについて、後日依頼に伺うかもしれない。

⇒テイクオフ 管理者兼サービス管理責任者より。

新潟市の救命サポーター制度があり、貸し出しは可能。夜間もスタッフがいるため、声をかけてほしい。

6. 施設見学

会議終了後、やわらぎ荘の見学を実施した。

以上